

第 1 号議案

2021年度事業報告並びに会計報告

1. 事業報告

実施内容	<p>○市川市教育委員会の推薦をいただき、本年度から市川市立中山小学校、若宮小学校の他、新たに大柏小学校がオオムラサキの飼育協力校に参加していただいた。</p> <p>4月中にオオムラサキの越冬幼虫を各20頭ずつ、エノキ各3本ずつ配布し、6月には各学校の3年生児童を対象にオオムラサキの幼虫の観察を中心とした学習の場を提供することができた。</p> <p>○市川駅南口図書館のご協力をいただき、6月24日～27日の4日間「オオムラサキ観察会」を開催する事が出来た。約600人の市民の方の参加を得た。新聞社にも情報提供していた関係で、市外からの参加者も見られた。</p>
広報の実施状況	<p>○年2回、「オオムラサキ通信」を市川市立中山小学校、若宮小学校、大柏小学校、若宮幼稚園、富貴島幼稚園には全児童・園児及び職員と保護者に配布した。また、本会支援者へも配布した。</p> <p>○昨年6月と12月、支援会員募集パンフを、中山・若宮地域に新聞折込で配布した。(朝日新聞3,000部、読売新聞2,000部)</p> <p>○小学校3校の3年生児童を対象に、「オオムラサキだより」を発行した。</p> <p>○「オオムラサキ通信」の発行に伴い、本会ホームページを更新した。</p>
成果	<p>○学校教育との連携を進めることで、オオムラサキと児童・幼児の関わりが少しずつ広がりと深まりを見せ始めている。昨年まで、学校での羽化率があまり高くなかったが、幼虫、エノキ(食草)、成虫用のエサなどの支援を行う事で、羽化率が上がってきている。</p> <p>○オオムラサキを日常的に観察することで、オオムラサキに対する児童の意識も深まったと思われる。オオムラサキの学習の場面では、目の前で幼虫を観察する事ができた。子どもたちからは「かわいい!」「わー、うんちした!」等の歓声が聞かれた。</p> <p>○「オオムラサキ観察会」では、多くの市民の方に観察していただいた。オオムラサキの知名度は高いようで、「はじめて見ました。」という声とともに、興味深く観察される方が多かった。また、新聞記事に掲載された事により、浦安市、千葉市、松戸市など市外から観察に来た方もいた。</p>
課題と改善策	<p>○長引くコロナ禍の影響で、今後の活動の見通しが立たない状況である。このような状況ではあるが、可能な範囲で地道な活動が展開できるよう努めていきたい。</p> <p>○オオムラサキの飼育場所の一つとして、市内小学校の鳥小屋を活用させていただく案を検討中である。将来的には、市川市内で産卵ー成長ー羽化のサイクルの実現を目指していきたいと考えている。</p> <p>○新聞折込や観察会などを通して、支援会員の輪をさらに広げていく必要がある。</p>

<資料>

小学校におけるオオムラサキの学習（2022 6.11 中山小学校にて）



オオムラサキ観察会；市川駅南図書館（2022 6月24日～27日）



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

<収入の部>

項目	金額	説明
前年度繰越金	5,578	
会費・支援金	15,8000	
補助金収入	65,270	市川市補助金
合計	228,848	

<支出の部>

項目	金額	説明
交通費	16,220	幼虫等調達のための交通費(町田(3,900円) 市内幼稚園,小学校,博物館交通費(12,320円)
消耗品費	34,488	オオムラサキ幼虫(60円×200=12,000円) エノキ(774円×15)培養土等(926円) 鉢等(2534円)プリンターインク(7418円)
印刷製本費	34,578	オオムラサキ通信(6,755円+6,067円) 学習用資料(1,756円)のぼり旗(5,115円) 支援会員パンフ(7622円+7,263円)
通信運搬費	16,040	切手代(11,630円)はがき(63円×70)
その他経費	77,075	事務所管理費(30,000円)、観察会経費(20,260円) 新聞折込(12,210円+8,140円)補助金返金(6,465)
合計	178,401	

<差引残高>

228,848-178,401=50,447

令和3年度 監査報告

監査の結果、相違ないことを認めます。

令和4年 5月2日

監事(会計監査)

太田 秀人

